

県政 HOT NEWS

天皇陛下御在位三十年をお祝いしました — 記帳所を設置 —



天皇陛下は、今年の1月7日で御在位満三十年をお迎えになりました。県では2月24、25日、県庁と敦賀・若狭合同庁舎に記帳所を設置。朝から多くの県民の皆さんが訪れ、心を込めた記帳を行いました。

また、2009年の全国植樹祭や昨年の福井しあわせ元気国体など、天皇皇后両陛下が来県された様子を振り返る写真展を県庁で行ったほか、恐竜博物館や年縞博物館などの県有施設を無料で開放。天皇陛下の御在位三十年をお祝いしました。

三方五湖の伝統漁業に国のお墨付き — 三方五湖地域が日本農業遺産に認定 —



水面を竹竿で叩いて魚を追い込む三方湖のたたき網漁など、五湖それぞれの特徴に合わせた伝統漁法が今なお残る三方五湖。2月15日、伝統的な農林水産業を営む地域を国が認定する「日本農業遺産」に県内で初めて認定。400年以上にわたり漁法を継承してきた点や、乱獲を制限し、資源保護につなげてきた点などが高く評価されました。

認定により、地域のブランド力向上や環境保全活動が進むことが期待されています。

天皇陛下が詠まれた和歌(御製)を記す — 御製碑の除幕式を開催 —



天皇皇后両陛下がご臨席された福井しあわせ元気国体の総合開会式。出演した皆さんは、雨の中にもかかわらず、演奏やダンスをやり遂げました。天皇陛下は「あらし迫る開会前の競技場福井の人ら広がりをもとめ、笑顔絶やさず懸命に演技した皆さんの様子をお詠みになりました。

県では、感謝の意を含め、開閉会式を行った福井運動公園に御製を記した碑を建立。3月5日に除幕式を行い、県民の皆さんにお披露目しました。

国体・障スポの成功を未来へつなげよう — ふるさとの日記念イベントを開催 —



1881年2月7日は福井県が誕生した日。県では、2月7日を「ふるさとの日」とし、県民の皆さんが郷土について理解を深めるための記念行事を行っています。

今年は、昨年の「福井しあわせ元気」国体・障スポの成功を未来につなぐことをテーマとして、2月10日に開催。両大会の式典総合プロデューサー山根一眞さんの講演や福井商業高校チアリーダー部「JETS」とはぴりゅうのダンスステージを行ったほか、県ボート協会など国体で活躍した競技団体や学校を表彰しました。